



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

April 2004 No.10
 Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2003~2004)

クラブ会長：『個性を認めて共に前進』
 国際会長：“Be Agents of Change”『変革の担い手となろう』
 アジア会長：“New thinking, New Action”
 『新たな思考で、新たな行動を！』
 西日本区理事：『未来に架ける橋』
 中西部長：『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長：谷川 俊一
 副会長：松浦 孝次
 “ ”：石津 雅人
 書記：山田 孝彦 (主)
 “ ”：栗山 佳三
 会計：三浦 直之 (主)
 “ ”：鎌田 史朗
 幹事会長：松浦 和子
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『YMCAサービス・ASF』

☺☺☺ 4月の聖句 ☺☺☺

【 Biblical Message of March 】

イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおりに、このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられることは、ありえなかったからです。

(使徒言行録 2章22~24節)

☺☺☺ 4月の例会 ☺☺☺

【 April Club Meeting 】

○ 4月 第1例会

日時：2004年4月21日(水) 18:30~20:30
 場所：東洋ホテル3階

司会 畠中 彬君

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
 2. ワイズソング ー 同
 3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
 4. 聖句朗読 栗山 佳三 君
 5. 今月のテーマ 新保 正秋 君
 6. 日々の糧・晩餐 ー 同
 7. ゲストスピーチ 卜田 啓三 氏
- 「ミャンマー・スタディツアー (03.12) の報告」
 (大阪YMCA常議員、豊中ワイズメンズクラブ)
8. インフォメーション 各 担当
 - YMCAニュース 連絡 主事
 9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
 10. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

☺☺☺ Attention Please ☺☺☺

- クラブ行事「春の健康ハイキング」を、野外で遊ぶに絶好のシーズン 4月29日(木・祝) 京都で開催する予定です。詳しくは追って案内があります。ぜひ参加を・・・。
 山科 ~ 大文字山 ~ 蹴上のルートです。
- 5月15日か22日(土)の午後に、デファレンスデイの行事をもつ予定です(YMCA土佐堀会館)。追って案内があります。

○ 4月 第2例会

日時：2004年4月28日(水) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館9階

- *4月例会当番 2班 (栗山 畠中、中村隆幸、鎌田)
- *4月お誕生日 Happy Birthday!
 隅田メネット 13日、浜野君 26日

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年3月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メソ	13(1)名	7名	3月：切手 255 gr. 現金 2,000円	3月：14,800円
例会出席 14(1)名	メネット	6名	名		
うちメークアップ 1名	ビジター	名	名		
	ゲスト	1名	名		
出席率 65.0%	合計	20名	7名	(03年7月~04年3月の) 累計：切手 5,154 gr. 現金 19,000円	(03年7月~04年3月の) 累計：278,000円 (除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金)

今月の聖句として掲げた言葉は、イエス・キリストの11人の弟子たち(ユダを除く)の筆頭であったベトロがイエスの死後、初めて街頭に立って民衆に向かって行なった説教の一部です。場所はエルサレム、聴衆はイエスを十字架にかけた人々と同じユダヤ教の信者たちが殆どでした。だからベトロも、「自分もイエスと同じ運命をたどるであろう」ことを承知で、いわば決死の覚悟で民衆に語りかけたのです。使徒言行録には、このベトロの熱意あふれる説教を聴いて、その日のうちに三千人の人々が、ベトロの言葉を受け入れ、洗礼をうけて仲間に加わったと書かれています。

三千人であったかどうかは別として、今日私たちが読んでも、ベトロの今回の言葉は、聖書の中でも、最も端的にイエスの姿すべてを物語っています。とくに、「反対派の人々がイエスを十字架につけて、殺してしまったにもかかわらず、神は、イエスの存在意義を否定してしまう『死』から解放して復活させた」という力強い証言は、民衆の心を打ったに違いありません。

今年のイースター(復活節)は4月11日です。その意義を考えつつ、4月例会に参加しましょう。

(聖句選、コメント：黒田駿之)

3月 第1例会

【Report of the March Club Meeting】

(3月17日(水) 18:30~20:20 東洋ホテル)

プリテン：松浦 孝次

● 平年を10℃も上まわり4月下旬なみのポカポカ陽気の高、ゲストに山岡 舞明さんを迎えて、わがクラブからメン13人、メネット6人が出席して開きました。

● 山田孝彦メンの司会、ひさしぶりに出席の黒田駿之メンが聖句の朗読、栗山佳三メンから今月のテーマ「EF・JWF」について解説がありました。

「JWF」は西日本区ワイス基金のこと、「熱海基金」が1975年熱海で国際大会が開催、鈴木謙介メンが国際会長であった)端緒となって創設されたもの。特別のプロジェクトや用途に用いられます。「EF」は国際ワイスダム発展のための基金。

● ゲスト山岡 舞明さんは、藤原正巳メンと同志社大学グリークラブの同期生で、同メンからの紹介です。45年にわたる信仰生活をもっておられ、日本バプテスト同盟の信徒伝道者であり、バプテスト神学校の理事長を務めておられる。また100以上の山を歩いた無類の山好きの人。

「健康と信仰」と題して、ご自身の体験を通して得られたものを披露いただきました。明快で、示唆に富むよいスピーチでした。

年齢には「生活年齢」「生理年齢」「心理年齢」がある。「生活年齢」は暦どおりの年齢(氏は67歳)、「生理年齢」は人の健康状態によって違う年齢、「心理年齢」は気持の持ち方によって決まる年齢で、やりたいことをやるんだという心意気が若さをもたらす。

大学卒業後、教会の門をたたき、受洗した。その契機は、高校2年生から肺結核10年間の闘病生活、大学グリークラブ



(上：3月例会 I—ゲストスピーカー山岡舞明さんを紹介する)
(下：3月例会 II—黒田駿之メンが聖句朗読を)

で出会った賛美歌のすばらしさであった。音楽は神様への感謝と讃美、心身を健康にさせる霊的なものと思う。

神を信じ、全てを委ねることで、健康な体で生きることができた。健康は、自分の心がけ(感謝の心)と努力で得られるもの。

また山歩きは、ネパールに1か月滞在して、エレベートの4,500mの地点まで登ったが、ぜひ8,840mの頂上をきわめたいと思っている。一念発起して、東海自然歩道を箕面から高尾山まで1,400kmの踏破にチャレンジした。延べ20年間、62日かかって奇しくも60歳の誕生日に達成したが、ゴール1km手前から感激の涙があふれた。人々との出会い、四季の美しさ、そしてイエスが一緒に歩いてくださっていることを実感した。信仰生活に一層の深みが増したように思う。

● 浜野昌保メンから大阪YMCAクリスマス献金のお礼、坂本千春メネットから3月6日合同メネット会のお礼が述べられた。お誕生日祝いは、92歳になられる鈴木謙介メン(おめでとうございます!)をはじめ、4人の誕生日を祝って閉会しました。



(合同メネット会、受付にあたるわがクラブメンバー)

♪♪ 中西部 合同メネットの
つどい 成功裡におわる ♪♪

2004. 3. 6 (土) 12:00~14:00
大阪 YMCA 土佐堀館10階
大野・西日本区理事ほか役員多数、
18クラブから総勢72人が参加

合同メネットのつどいを終えて

中西部メネット主査 坂本 千春

3月6日無事「合同メネットのつどい」をおえることができました。今、私は正直言って本当にホッとしています。

昨年6月に主査という立場になって以来、常に心のどこかにこの会のこと、がありました。

今年に入って、いよいよ本格的に準備を始してから、本当にわがクラブのメン・メネットの皆さんにはいっぱい、いっぱい助けていただき、感謝の言葉がいくつあっても足りません。いままでにこのような立場で物事を進める経験に乏しい私にとって、とてもいい経験になりました。

大変だなあと思うこともありましたが、終わってみれば、達成感はあるし、多くの方々と知り合うことも出来ました。また、以前より少しは、ワイズのことを理解できるようになったと思っています。

それにつけても センテニアルクラブの協力体制は、本当にありがたかったです。京都陪吹や、阪和部の主査さんからうらやましがられました。わたしにとって、センテニアルのメネットであることは 自慢です。

未熟なわたしに 主査という役目を与えてくださったことに感謝しています。ありがとうございました。

手づくりのメネット会 を終えて

隅田 恵子

坂本千春・中西部メネット主査を中心に、わがクラブで手づくりの準備を進めてきました。中西部各クラブからは勿論、西日本区からも多くのメネット、メンのご参加をいただいて、70人をこえる賑やかな会となりました。

松浦和子メネット会長の開会点鐘、メネットソングの斉唱、坂本主査の挨拶、大野嘉宏理事や杉浦真喜子・中西部長の挨拶と進行します。そしてメネット事業の絵本づくりも大詰めで、畑本久仁枝メネット事業主任の熱いスピーチと、スライドやパネル展示で、より実感しました。

福永滋子メネットの食前感謝で、楽しい食事を始め、いよいよNHKの「新選組」に出演の若手落語家・桂 吉弥さんの登場です。テレビの裏話や高座に上がったのお断で、たっぷり思いきり笑わせていただきました。

次期メネット主査の田中メンのご紹介では、メネット活動の広がりも期待しました。谷川有美子メネットのウィットに富んだ司会、中村幸枝・畠中ひろみメネットの受付と、何よりも わがセンテニアルのメンの軽快なサポートに助けられて、会は成功裡に閉会しました。

中西部合同メネット会



中西部合同メネット会



- (上から: つどいⅠ-挨拶する坂本千春メネット主査)
- (つどいⅡ- メネットソングを歌う参加者のみなさん)
- (つどいⅢ- 会場を大いに沸かせた 桂 吉弥さん)
- (つどいⅣ- 桂 吉弥さんの話芸に笑い・笑い・・・が)

The March 17th meeting was held at Toyo Hotel in Osaka, with a total of 19 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance.

The Endowment Fund and the Japan West Fund were emphasized for this month, so Y's Man KEIZO KURIYAMA, chairperson of the programs outlined the purpose and objective of the two funds.

Mr. YOSHIKI YAMAOKA, our guest speaker and director general of the Japan Baptist Church Alliance, spoke about how to enjoy our life of advanced age, focusing on the subject of our belief and health.

Mr. YAMAOKA who is also a great hiker, tramping over the whole course of the 1400 km long of the Tokaido Natural Footway in 20 years, made an intelligent speech with full of suggestions for our senior life.

We celebrated our members who were born in March - including Y's Man KENSUKE SUZUKI who will reach 92 years of age on March 26th. Congratulations, Suzuki-san! We are proud of having him in our club, who continues to come to our club meeting.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

“Alpha from Hawaii”:

ハワイ Nuuanu クラブ・プリテンから

①クラブ会長交代

Phyllis Sakane 会長は業務多忙のため、期中ですが Naomi Aimoto さんとクラブ会長を交代されることになりました。

②ヌアヌクラブは5月29日にチャーター40周年を迎えます。

具体的な記念行事については目下検討中ですが、現在のところ5月にEndowment Dinnerを日本文化センターで開催し、6月に別途祝賀会を開く案が検討されています。この場合、Osaka CentennialとHong Kong Bauhinia クラブに招待状が出される予定です。

③現在の会員数は18名

ただし、Wayne Hirano さんが入会を希望されているため、近く19名になる予定です。

“Bauhinia News”:

香港 Bauhinia クラブ・プリテンから

① 3月28日に“Bauhinia Charity Night 2004”を開催

アジア太平洋YMCA 同盟総会を終えて

— シンガポールでの一週間 —

アジア太平洋YMCA 同盟委員長 谷川 寛

3月7日から、アジア太平洋地区のYMCA から青年代表、役員、スタッフ 300名をこえる人々が集まり、第16回総会が開かれました。日本からは青年代表18名を含め33名が参加し、24ヶ国の代表が集まりました。

総会前のユースフォーラムでは、「大きく変革が進む世界での青年の役割」がテーマでした。日本の若い女性の積極的な係わり、発言がめだちました。

総会を含めた全体会議では、「アジアでの公正な平和実現へのさらなる変革」が主要テーマでした。多くの分担協議がもたれました。アジアの多様性が浮き彫りになりましたが、また、YMCA としての一致も共有できました。

私達役員の改選も行われ、4年の任期(実際は、例のSARS問題から半年延び4年半)が終了、私も会長職を、インドのSamuel Stephens に譲りました。4年半は大変長いようでしたが、過ぎてみると、最近の時の流れの速さから、あっという間でした。多くの、世界のYMCAの友に助けられ充実した4年間でした。

それにしても、今回総会をホストしてくれたシンガポールの二つのYMCAの働き、ともてなしは素晴らしい、目を見張るものがありました。ごく少数のスタッフ、ワイスボランティアの効率的運営、働きが自立しました。

Opening Dinnerには、シンガポール大統領夫妻(首相ではない)を招き、私は大統領の隣の席、私のワイスメネットは、大統領夫人の隣で、シンガポールの将来、日本の将来に関して話題が盛り上がりました。日本の大使の参加もありました。シンガポールの地でのYMCAの働き、認知度がわかります。大変多くのエンタメメントが用意されており、参加者全員、ことに私達海外ゲストはたんのうしたことでしょ。

4年間の私たち役員の働きを、多くの友が支えてくださいました。神のご加護を感謝します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♫ 同クラブ恒例のチャリティー・ナイトが、ハッピー・バレーのレイトクラブで開催されます。ディナー会費は320香港ドル(約4,800円)です。

② 香港YMCA “Better Life Option Program”に2万ドル(約28万円)を寄贈

このプログラムは、学生にその生活態度を見直させ、より良い生活への選択を支援しようとするものです。

お知らせ

1. 第7回 西日本区大会

日時: 04年6月12日(土)~13日(日)

11日(金)は前夜祭があります。

場所: 加賀・山代温泉 ホテル百万石、加賀市文化会館
申込は各自で。なお3月31日までの申込は割増です。

2. 2004年度 ワイズメンズクラブ国際大会

日時: 04年8月12日(木)~15日(日)

場所: インド・コーチン(アラビア海に面した貿易港。1502年ポルトガルのガスコ・ダ・ガマが上陸、以来ヨーロッパ人の居住区となった。個人的旅行ではなかなか行けないところ)
参加ツアー: A・Bコースあり。両コースとも8月11日(火)関西出発

3. 第7回 東日本区大会

日時: 04年6月5日(土)~6日(日)

場所: 熱海ニューフジヤホテル

申込は4月15日までに、クラブ会長を経て、熱海クラブへ。

3月 BF ニュース

[Report of the Brotherhood Fund in March]

BF委員長: 栗山 佳三

◇現金提供者: 栗山、山田君

◇切手提供者: 山田、黒田、谷川寛、鈴木、栗山、隅田、三浦、福永君

今月の殊勲賞: 山田君 130gr

3月第2例会

[Report of the March Club Meeting]

(3月24日(水) 18:30~20:40 大阪YMCA)

1. 4月第1例会プログラム

第1面のとおり。ゲストスピーカーにト田 啓三さん(豊中ワイズメンズクラブ)を迎える。

2. 多文化共生子どもサミットについて

8月に「子どもフレンドリーシップキャンプ」を行う計画について、中村茂高メンから説明があり、以下検討した。

① 予算250万円の資金調達について、関西テレビ・事業団からの拠出、ボーイング社からの助成のほか、さらに他の助成団体に助成を求める。わがクラブとしての拠出も要検討。

② キャンプリーダーはYMCA、朝日、関西テレビ3者から求め、その統合調整が課題である。

③ このキャンプの担当者を複数決めておこう。

これに関して、オキナワ・アメリカンスクールのセイヤー校長が5月28、29日に来阪されるので、有志で会う。

3. クラブ行事

(1) 「春の健康ハイキング」: 4月29日に京都を歩こう会(大文字山を中心)をもつ。みんなで楽しもう。

(2) デファレンスデイ: 5月15日か22日(土)に開催する。5月例会になる。テーマは多文化共生につながるものを。講師などは3月中に決める。

4. その他

(1) 次期会長・主催研修会(3月20~21日 六甲)の報告が、石津・次期会長からあった。今後、「課題」(モットー)は「主題」(テーマ)とするなど。

(2) 土佐堀YMCA運営委員会の報告が、松浦 運営委員からあった。委員会活動の中味と、新運営委員の選出など。

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

大阪YMCAでは、新年度を迎えスタッフ一同「ともに生きる社会」の実現のためにより一層邁進してまいります。ワイズの皆さまともよきパートナーとして、前進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

★YMCA英語教育講演会「英語教育と通訳」

日時: 4月3日(土) 午後2時~4時

場所: 大阪南YMCA2階ライブラリー

問合せ: 南YMCA TEL06(6779)8363

内容: 通訳の世界、通訳訓練法について

プロの通訳訓練メソッドを体験してみよう

★第132回大阪YMCA早天祈祷会

日時: 4月16日(金) 午前7時30分~8時30分

場所: 大阪YMCA会館 10階チャペル ☪

☪ 証し: 中島 聡牧師(日本キリスト教団西陣田教会)

問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

★紀泉わいわい村「春まつり」

日時: 4月24日(土) 10:00~17:00

25日(日) 10:00~15:00

場所: 里山の自然学校「紀泉わいわい村」

問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

*開設1周年を記念のおまつりです。

★大阪YMCA第6回チャリティーゴルフコンパ

日時: 5月12日(水) 午前8時49分スタート

場所: 神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部

参加費: 20,000円

問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

*今回のチャリティーは「聴覚障がい青少年国際キャンプ」への支援にいたします。



【 Messages from the Club Members 】

“ごぶさだ”メッセージ

- 3月こそ出席と考えておりましたが、かぜ気味で残念ながら欠席します。皆さまによろしく。(田中 穂子)
- 3月は業務多忙にて、申し訳ありませんが欠席の届をさせていただきます。(永島 肇)

会員からのメッセージ

- これからの生活のために役立つ話でした。高齢化社会に元気に生活したいものです。(石津 雅人)
- 前期・現・次期の理事がご出席という、前代未聞の中西部メネット会も盛況のうちに終了し、アシスト役ホストクラブメンとしてもホットしています。ご参加いただきました皆さん本当にありがとうございました。(栗山 圭三)
- ようやく春がきました。さあ活動を始めましょう。(黒田 敏之)
- すべてのことをPOSITIVEに考えることによって若々しい身体を得ることができると確信し、これからもがんばっていきましょう!!と思いました。(坂本 千春)
- 先日のメネットの集いは、皆の協力ですべていい会になりました。そうしてメンのチームワークは最高でした。豊中クラブのメネットさんと「うちのメンが1番だ」とお互いに自慢しあいました。ありがとうございました。(岡田 恵子)
- 春が隣まで来ていると思っている間にいつのまにか春の中に自分が入ります。気持ちを若く喜ぶ時と健康に感謝。今日の山岡さんの話から思いました。(谷川 俊一)
- しっかりした信仰に根差したご自身の健康観を通して、輝かしいシルバーライフのお話を伺いました。私もウソのサンハチでもいい、いつまでも38歳を目指して頑張りたい!!(厚かましすぎる?)(谷川有美子)
- 人生の中で長いシルバーライフも、生き方は若いときから準備していくことが大切ですね。山岡さんありがとうございました。(中村 茂樹)
- 悲観主義にはさようならしようと思います。半分のワインを有難く頂きます。合同メネット会でのメンの働きに感謝!(中村 幸枝)
- 例会、大層に遅刻して申し訳ありませんでした。日頃の運動不足を解消するべく(?)、小走りで行ったので大汗をかきました。たまには急いで来るのもいいかもしれませんね。(浜野 昌保)
- 山岡さんの尊い体験による今日まで恵みに満ちた御一生は深く学ばせられた。感謝!(鈴木 謙介)
- いつも一緒に歌っている仲間から、思いもよらない話を聞くのはまた楽しいから、頭や年を気にせず頑張らなくちゃ…ですね。(福永 嘉彦・滋子)
- 鈴木さん、黒田さんがお元気に出席され、心うれしい例会でした。山岡さんの卓話ひとつひとつが心にしみ、入り深く考えさせられるひとときでした。(藤原 正巳)

- 今日は心と体のケアについてのお話し楽しく聞かせていただきました。生理年齢と精神年齢を若々しく保ちたいと思います。「メネットの集い」クラブのみなさまのご協力に心から感謝します。(松浦 和子)
- 3月、スーパー歌舞伎「新三国志Ⅲ」を鑑賞しましたが、主演の「信すれば夢は必ず実現する」とのセリフ、先月可奈さんから聞いた話と符号して、納得でした。(松浦 孝次)
- いよいよ春になりました。外に出てしっかり歩いてよい空気を精一杯吸い込んで、身も心もすがすがしく過ごしたいですね。(山田 孝彦)
- 山岡様の素晴らしい生き方、気持ちの持ち方を見習いたいです。3月6日の桂吉弥氏はよかったです。(三浦 直之)

個人消息

- 鈴木 謙介メンは3月26日に、92歳のお誕生日を迎えられました(1912年生まれ)。おめでとうございます。毎月の例会に欠席されることはきわめて稀であり、ますますお元気でいらっしゃりたいと心から祈ります。

中西部合同メネット会



(上: つどいV- 司会の谷川メネットと 閉会挨拶の松浦メネット会長)

(下: つどいVI- 閉会前のわがクラブのメネットさんたち)

《 編集後記 》

- 3月例会のゲスト山岡 義明さんから、人生において志をもち貫ぬくことの大切さを 聴きました。2月ゲストの可奈潤子さんのお話しと全く一致しますね。
- 3月号の1面「1月クラブ統計」は「2月統計」、2面・6面の写真説明「1月例会の風景」は「2月例会」でした。お詫びして訂正します。(松浦 孝次)



『デファレンスデー』

大阪センテニアルワイズメンズクラブ

「私のルーツ、インド そして私が見た日本」

- 異文化って、なんだろう？ 知らないことから起きる摩擦！！ -

多民族、多言語、多文化のインドで育ち、20年以上も日本で暮らすアダルシュ・シャルマさんが、インドと比較しながら、日本の子どもの教育や女性問題について語ります。

また、国内の学校や地域で進めている国際理解を深める教育活動の報告と、子どもに伝えている異文化プログラムの一部を体験します。

記

と き 2004年5月22日(土) 午後2時～4時

(午後1時30分から受け付けます)

ところ 大阪 YMCA 3階 302号室

大阪市西区土佐堀1-5-6 TEL06-6441-0893

(地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅下車③号出口から西徒歩7分)

○お話し「私のルーツ、インド そして私が見た日本」

アダルシュ・シャルマ・なら NPO プラザ講師

○異文化ワークショップ

仲川 順子・なら NPO プラザ 代表

(講師プロフィール)

アダルシュ・シャルマさん

インド・パンジャブ州出身。英文学・教育学・史学修士。1979年奈良女子大学研究生として来日。大学などでインド文化を教えたり、現在は小学校で英語教師を勤める。

日本の事情をインドへレポートするなど、日本・インド両国にわたる国際理解の活動を展開している。

仲川 順子さん

外資系企業勤務後、なら・シルクロード博記念国際交流財団にチーフ・コーディネータ（'89～'96）として勤める。その後、外国人支援グループ「ナラ・ファミリー&フレンド」や、学校・地域に国際理解教育を広げる「なら NPO プラザ」を設立、多文化共生社会をめざして活動中。'01年より（NPO法人）奈良NPOセンター理事長に就任。

参加費 500円（飲み物代、資料代）当日、会場でいただきます。

申し込み 下記いずれかへ FAX または E-Mail にてお申し込み下さい。

申し込み締め切り 5月21日(金)

■〒657-0023 神戸市灘区高羽町5-7-15-501

山田孝彦（大阪センテニアルクラブ書記）

TEL:078-811-3658 FAX:078-822-6057

E-Mail: taka-mak@kcc.zaq.ne.jp

■〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6

浜野昌保（大阪YMCA）

TEL:06-6441-5087 FAX:06-6445-0297

お名前	所属	ご連絡先 (Tel, E-mail など)